

「イノベーション・マインド」を強化する勉強会のご提案

2019年12月

システム企画研修株式会社

当ご提案の背景

昨今は働き方改革の残業規制強化等により、研修時間を確保することが極めて困難になっております。



他方、社員の能力強化の必要性は、ビジネス環境の変化によりますます大きくなっているのです。



この窮状を何とか打開しないと、どこの会社も社員もじり貧で、いずれ中国や米国の企業に淘汰されてしまいます。

- ▶ SZK（少しずつ刻む）シリーズは 研修時間を細切れにすることによって 密度の濃い研修を業務時間の中にもぐりこませようとするものでございます。



「イノベーション・マインド」を強化する、とは

- ❖ ご認識のように、現在の世界は大変な時期にきています。
- ❖ 放っておけば、G A F Aや中国企業（B A T Hなど）が世界中のビジネスを支配するようになってしまいます。
- ❖ アマゾンが20数年であれだけの影響力を世界に与える時代です。グーグルは20年しか経っていないのに、量子コンピュータの原型開発に成功しています。
- ❖ 特にアマゾンは、ICTの力ですべてのビジネスを変えつつあります。消費者向けビジネスはすべてアマゾンショックの危機に遭遇している状態です。
- ❖ ほとんどのお客様のビジネスは、ビジネスモデルを大きく変えるか、そうでなければ消えていくしかないのです。
- ❖ のんびり構えている時ではありません。すべての国民が、特にビジネス従事者は一人ひとりが、自分たちはどうすればよいのか、何をすればよいのか、考えなければならないときなのです。
- ❖ 中でもIT関係者は、ITが世界を変えつつあるのですから、他のビジネス従事者よりも責任重大です。
- ❖ 世の動向を考え広い視野で物事を考えることができ、少しでも自分たち周辺のより良い将来につながるように考え行動できる人材、それがイノベーション・マインドを持った人材なのです。
- ❖ 素質がある人はたくさんいるはずですが。そういう人たちに自分たちの使命に気付く場を作ってあげようではありませんか。
- ❖ そういう観点でこの勉強会を企画しました。

「イノベーション・マインド」を強化する勉強会のご提案

1. 当勉強会の「目的・ねらい」(Why)

(1) 当勉強会の実施目的

- 以下のテーマについて、その世界の有識者の知見を基に的確に認識していただきます。
日本の現状 課題と対応策
ビジネス・技術動向
IT業界 課題と対策
- そのために、多くのエネルギーをその学習につぎ込んでいただきます。
(そのくらいをしないと「イノベーション・マインド」は強化できません)
- その認識のもとに、自分たちはどうすべきかを考えていただきます。

(2) 当勉強会のねらい

- 得られた価値ある認識のもとに、日々の仕事にとりこんでいただきます。
- 必ずしも、お客様・会社・上司の言いなりで仕事をするのではなく、「あるべき方向」を提示できるようになっていただきます。
- それらの行動を通じて、少しずつでもお客様・会社のより好ましい将来に貢献できるようになっていただきます。
- それらの行動が積み重なれば、日本の生き残り、日本産業の生き残りに貢献できることとなります。

2. 当勉強会の内容 (What)

- ❖ 次頁をご参照ください。
- ❖ ご相談の上、内容の変更・調整は可能です。

3. 当勉強会のご対象者 (Where)

- ❖ 当勉強会に参加希望の有為の方を対象といたします。
- ❖ 職種・経験不問(事務職も可)です。
- ❖ 1クラス10人までとします。

4. 当勉強会の実施方法 (How)

- 1回2時間で実施します。時間帯は自由に設定いただきます。
- 御社内で実施いたします。場所をご準備ください。
- 各回とも事前宿題を提示し、集合研修は、宿題の発表・意見交換の場とします。
- 講師に対する質問・相談も随時受け付けます。



5. 当勉強会の実施時期・期間 (When)

- ❖ 第1回～第3回の間隔は2週間程度としてください。
- ❖ 第3回と第4回の間隔は1か月を標準とします。
- ❖ 講師側と日程調整してください。

6. 当勉強会の担当講師 (Who)

- ❖ 当面は上野則男が担当します。

7. 当勉強会の実施料金 (How Much)

- ❖ 研修料金は4回込みで70万円です(消費税別)。
- ❖ Q&A対応および研修テキスト、教材図書6冊、「AI解析事例集」「SE知識データベース」代込みです。
- ❖ 第4回が人数の関係で2回になっても同一料金です。

お問い合わせ

システム企画研修株式会社

電話：080-1169-3667

mind-pc@newspt.co.jp

「イノベーション・マインド」を強化する勉強会のご提案

2. 当勉強会の内容 (What)

❖ 御社内での1回2時間の研修により実施させていただきます。

第1回 日本の将来を考える

❖ 事前宿題

1. 以下の3冊を読み、日本がどうすればよいかをレポートしてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1) 「日本への警告」 | (ジム・ロジャーズ氏著) |
| 2) 「日本人の勝算」 | (デービット・アトキンソン氏著) |
| 3) 「成熟日本への進路」 | (波頭 亮氏著) |



2. 必ず3冊に目を通してください。

- ・ 本を読むガイド (提示します)

3. レポートは、**ポジティブ思考**で「**前向きに考えて**」3点をあげてください。形式は自由です。工夫してください。(各回共通です)

❖ 発表会 2時間 (第1回～第4回共通です)

- ・ 事前宿題でまとめたレポートを発表し意見交換します。

第2回 ビジネス・技術動向を考える

❖ 事前宿題

1. 以下の4資料を読み、重視すべき動向をレポートしてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1) 「マッキンゼーが予測する未来」 | |
| 2) 「アマゾン・エフェクト」 | (鈴木康弘氏著) |
| 3) 「アマゾン・エフェクトとは」 | (上野則男のブログ) |
| 4) AI動向 | (システム企画研修社作成「AI解析事例集」) |



2. 必ず4資料に目を通してください。

3. レポートは、自分の今後に影響しそうな観点で3点をあげてください。

❖ 発表会 2時間 (内容は第1回同様)

「イノベーション・マインド」を強化する勉強会のご提案

2. 当勉強会の内容（What） つづき

❖ 御社内での1回2時間の研修により実施させていただきます。

第3回 IT業界の今後を考える

❖ 事前宿題

1. 以下の5資料を読み、重視すべき動向をレポートしてください。

- 1) 「米国流システム構築が日本企業を救う」(工藤秀憲氏著)
- 2) 「DXレポート」(経済産業省作成)
- 3) 「みずほ20年ぶりのシステム更新成功」
(日経コンピュータ誌 2019.9.5 号記事)
- 4) 「AWSのクラウドが選ばれる10の理由」(アマゾン作成ネット記事)
- 5) IT・情報システム基礎知識
(システム企画研修社作成「SE知識データベース」の一部)



2. 必ず5資料に目を通してください。

・ 「IT・情報システム基礎知識」に目を通すガイド

- 1) 他の4資料で関心が起きたテーマについて参照する。
- 2) 状況により掲載されている資料またはネット情報を参照する。

3. レポートは、自分の今後に影響しそうな観点で3点をあげてください。

❖ 発表会 2時間 (内容は第1回同様)

第4回 自分たちの仕事の今後を考える

❖ 事前宿題

1. これまでの検討結果を踏まえて、今後の自分たちの仕事はどう変わるかをレポートしてください。

「自分たち」としては全社を考える必要はありません。

自分が担当している業務の範囲で考えてください。

2. 以下の観点でまとめてください。

- 1) お客様の要求・期待がどう変わるか
- 2) 自分たちはそれにどう対応しなければならないか
- 3) その際の課題は何か(会社・部門として、自分として)



❖ 発表会 2時間 (内容は第1回同様)